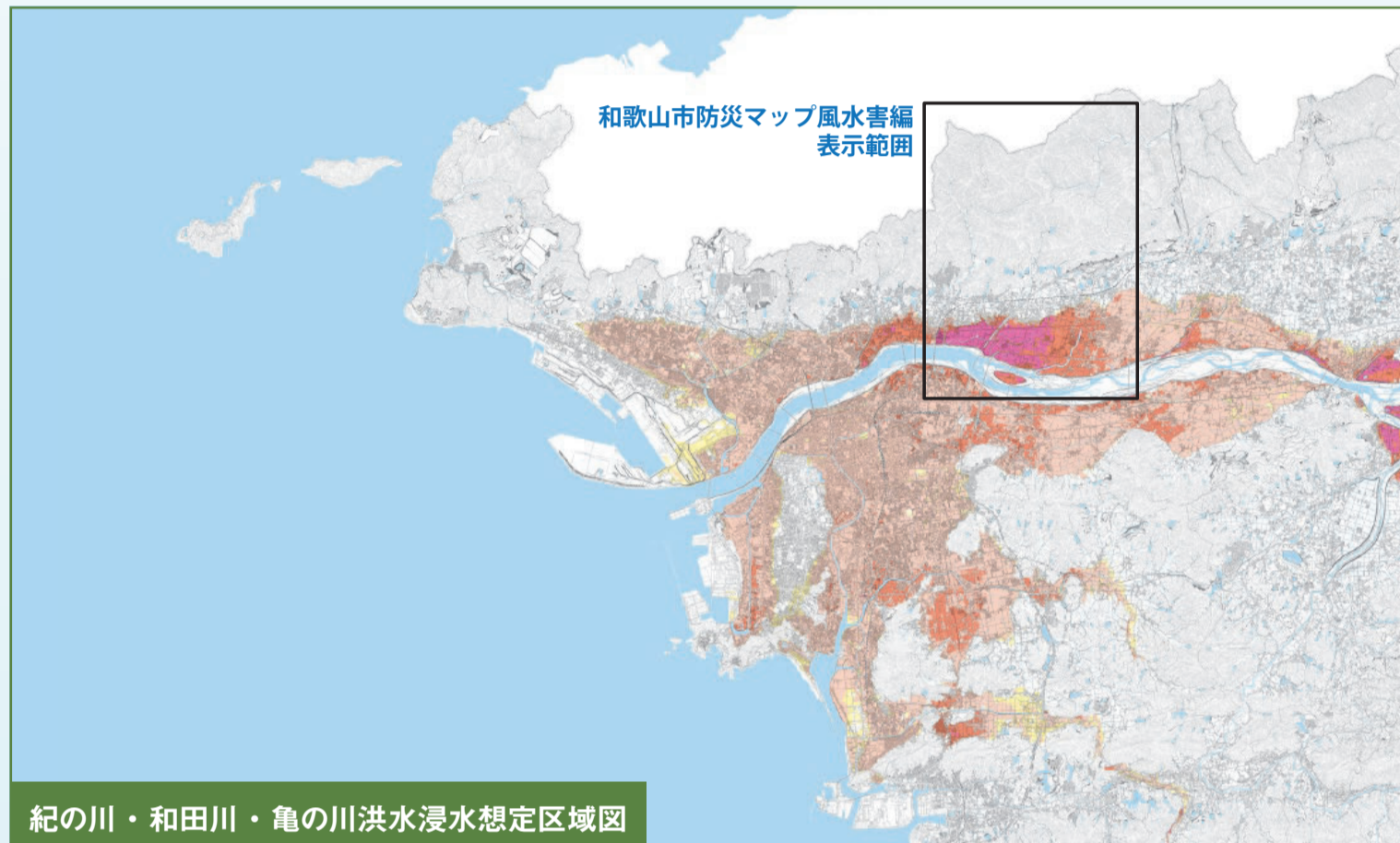


# 和歌山市防災マップ

風水害編 Wind and Flood Damage 風災和洪水破壊 풍수해편

あなたのとるべき行動は! Actions you should take  
你应当采取的行动! 당신이 취해야 할 행동은!



## 感染症予防対策 Infectious disease prevention measures

災害発生時には多くの住民が避難する避難所が「3密」状態となり、新型コロナウイルス感染症等が拡大する恐れがあることから、避難所における感染症予防対策が重要です。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等においてはインフルエンザやノロウイルスの感染が散見されています。

- 手洗い、手指の消毒をしましょう。
- 避難所の備品には限りがあるため、マスクや体温計など感染予防に必要なものは極力持参するようにしてください。



### 災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

<p><b>市が指定した避難所への立退き避難</b></p> <p>マスク・アルコール消毒液等自ら携帯するようにしましょう。</p>	<p><b>安全な親戚・知人宅への立退き避難</b></p> <p>普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。 ※防災マップで安全かどうかを確認しましょう。</p>
<p><b>安全なホテル・旅館への立退き避難</b></p> <p>通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。 ※防災マップで安全かどうかを確認しましょう。</p>	<p><b>屋内安全確保</b></p> <p>① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。 ② 浸水深より居室は高い。 ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分上記3つの条件を確認し、自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。 ※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。</p>

普段からどう行動するか決めておきましょう

地震・津波の場合、屋内施設への避難だけでなく、空地や高台などの安全が確保できる場所も避難先の一つとして避難しましょう。

## 情報の入手先 Information Resources

防災行政無線で迅速かつ効率的に情報を伝達します。☎

電話でも確認できる! 防災情報電話案内サービス  
和歌山市の防災行政無線の放送内容や防災情報を電話で聞くことができます。  
☎0120-077-199(通話料無料)

メールでも確認できる! 和歌山市防災情報メール  
和歌山市の防災行政無線の放送内容や防災情報をメールで確認できます。  
登録方法 下記アドレスに空メールを送信してください。  
✉ touroku@bosai-mail.city.wakayama.wakayama.jp

テレビ(データ放送) NHKテレビ(1ch)、テレビ和歌山(5ch)  
チャンネルを合わせて@ボタンを押すと、データ放送で災害情報を確認できます。

ラジオ NHK▶AM(666kHz/828kHz)、FM(84.7MHz)  
和歌山放送▶AM(1431kHz)、ワイドFM(94.2MHz)  
エフエム和歌山▶FM(87.7MHz)

防災情報サービス専用端末(J:COM) 防災行政無線の音声自動で専用端末から放送されます。(有料)

和歌山市ホームページ <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/>

和歌山市公式アカウント

和歌山市公式フェイスブック

和歌山市公式ツイッターアカウント

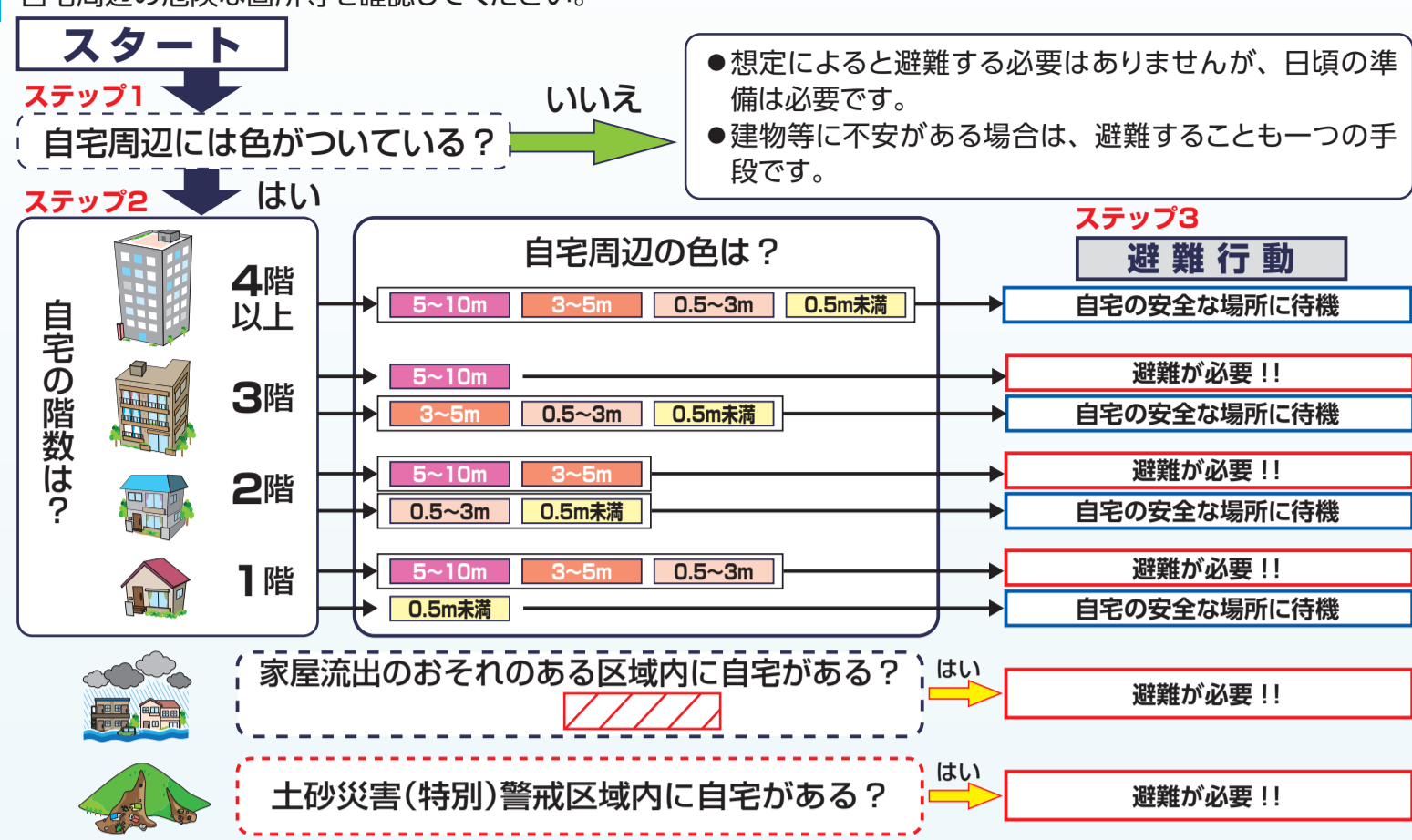
和歌山市災害警戒・対策本部ツイッター

和歌山地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/wakayama/>

関西停電情報アプリ

## 大雨時の避難行動判断フロー図 Evacuation Flow Chart for Heavy Rainfall

大雨に備え、下記のフロー図を参考に、あなたの避難行動を考えておきましょう。自宅周辺の危険な箇所等を確認してください。



## マイタイムラインを作らしましょう Let's Make an Evacuation Plan

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	あなたの行動記入欄	和歌山 太郎の行動(記入例) 花子(妻)、次郎(子)、光代(母)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ※1		警戒レベル5の発令を待ってはいけません。
〜 警戒レベル4までに必ず避難! 〜				に避難する	警戒レベル4までに 親戚の家に避難する
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示		☐ 私が避難開始(避難に要する時間:15分) 避難に時間がかかる 母は早めに避難する 花子と次郎は母と一緒に避難する
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難 ※2	高齢者等避難		☐ 花子、次郎、母が避難開始(避難に要する時間:30分) 母は早めに避難するので 「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、避難準備開始
2	気象状況の悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)		☐ 母は避難準備を開始(準備に要する時間:30分) ☐ ハザードマップで安全な経路を再確認する ☐ 母の常用薬を確認する ☐ 親戚の家に連絡する
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)		ハザードマップで親戚の家は浸水しないことを確認。これから親戚の家でお世話になることを伝える

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。  
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。

## 避難行動のポイント、危険な場所 Evacuation Points, Dangerous Places

避難行動の要点・危険場所 대피 행동의 포인트, 위험한 장소

- 浸水が始まる前に早めの避難を**  
氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。
- 状況に応じた避難を**  
周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。
- やむなく浸水の中を歩く際は**  
裸足、長靴は厳禁。ガラスの破片が落ちていたり、水が入ると動きにくくなるので運動靴を履きましょう。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。
- 川や用水路に近づかない**  
降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子を確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。

## 土砂災害の種類 Types of landslide disasters

<p><b>がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)</b></p> <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p> <p>地面にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。</p>	<p><b>土石流</b></p> <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p> <p>長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。</p>	<p><b>地すべり</b></p> <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p> <p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみ込み、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。</p>
--	--	--